



アトツギベンチャー思考

社長になるまでにやっておく55のこと

山野 千枝 著
日経BP社
(2023/10)

全国でベンチャー型事業承継実践する著者、アトツギ経営者 100 人、創業者の愛情深いリアルな声が記載されている実践本です！

【感想】

日本の高齢化の進展に伴い、経営者の高齢化も進む中で、中小企業の事業承継は、社会的な課題として認識されています。

このような中で会社を永続的に成長するためには、中小企業がこれまで培ってきた価値ある経営資源を次世代に承継していくことが重要となります。

本書は、一般社団法人 ベンチャー型事業承継 代表理事の山野さんが、事業承継分野に携わってきた 10 年間と、後継ぎ経営者 100 人の声を基に「ベンチャー型事業承継」の 55 の方法を説明しています。

「ベンチャー型事業承継」とは、「永続的な経営を目指すこと」「社会に新たな価値を生み出すこと」の2つを目的としています。同族会社の後継ぎが家業を円滑に引継ぎ、世代交代機に、先代から受け継いだ有形無形の経営資源をベースにして、新事業、業態転換、新市場参入に挑戦するためには、どのような方法が最適か。後継ぎが会社に入社する前から事業承継に至るまでの全方位に渡るアドバイスが記載されています。

事業承継において、経営体制の変更ではなく、事業の更なる成長・発展を遂げるための転換点をお考えの方には、是非お読みいただきたい一冊となっております。

【以下引用】

・「知の深化」と「知の探索」の両利き経営

家業の現場に入って、技術や知識を習得することだけに時間を費やしているうちに、いつの間にか見える世界はどんどん狭くなります。こうした「知の深化」とともに、自社の業界以外の世界に関心を持つ「知の探索」のために時間を意識的につくってください。

・先代の魂から生まれた無意識化のカルチャー(深い価値観)と向き合うこと

「ロジカルに考えたら、絶対そうすべき判断」が無意識に「これは先代が決めたことだからと」制限されて、なぜだかできなかった。これは完全に無意識化にあって、自分の行動を制限する。まさに無意識の中にあるカルチャーと呼ばれるものです。

・ファミリービジネスについて思うのは、エモーショナルマネジメントが重要

私はこの「非合理でエモいアトツギの世界」が、これからの不確実な世の中を豊かに、そしてカラフルにしていくと信じています。何よりアトツギにカラフルな人生を歩んで欲しい。そのために、心の中に引いた境界線を越えていってください。

後継ぎは「なぜ、自分はこの会社を継ぐのか。」「なぜ、存続させたいのか」「どんな価値を未来に残したいと思っているのか」を自分自身の中で、明文化することが大切です。